

令和3年度第二回愛媛県循環器病対策推進協議会の開催結果

1 開催日時 令和3年11月16日(火)18:00~19:50

2 開催場所 (web開催)

3 出席者

【委員】池添委員、泉谷委員、國枝委員、児島委員、檜垣委員、村上委員、山口委員、渡辺委員、河野委員、山本委員、矢川委員、斉藤委員、馬越委員、二宮委員、橋本委員(15名)

【事務局】菅課長、白石主幹、三宅係長、和田専門員、大澤専門員、今村主任(6名)

4 協議会の内容

(1) 会長挨拶

- ・推進計画素案は前回協議したロジックモデルをベースに、各項目で目指す方向性等を記載しており、策定後はホームページへの掲載等公表されることになる。
- ・内容は少し難しい部分もあることから、県民の方に読んでいただくために、分かりやすい1枚程度の資料作成を事務局に依頼した。委員の方々も県民への周知等に協力をお願いしたい。
- ・推進計画のキャッチフレーズ的なものがあると取組を推進しやすくなるのではないかと思うのでアイデアをいただきたい。

(2) 議事

①愛媛県循環器病対策推進計画の素案について

[資料]

○事務局説明

- ・基本的事項として推進計画策定の趣旨、位置づけ、医療圏の設定等を行い、県の現状や基本方針を記載。
- ・推進計画本文の構成は、前回協議したロジックモデルを基に項目立てを行い、現状・課題と取組の方向性を記載。
- ・推進体制と評価では、推進計画の主役はあくまでも県民であり、県民の協力が不可欠であることから役割を明確にして冒頭に記載。
- ・巻末に用語解説等の資料を添付。

○委員からの意見等

< I 計画策定の基本的事項 >

- ・推進計画策定の趣旨は大枠この内容でよい。
- ・現状もこの内容でよい。これ以上のエビデンスは難しいと思う。
- ・地域保健活動においても二次保健医療圏で情報交換等を行っているので、医療圏の設定は、二次保健医療圏でよい。

< II 愛媛県の状況 >

- ・特に重要なのは健康寿命の状況及び死亡の状況。
- ・愛媛県では心疾患と脳血管疾患を合わせた循環器病で死亡する方は、悪性新生物よりも多いというところが全国との違いであり、このことも重要なポイントである。

< III 基本方針 >

- ・全体目標のうち健康寿命については、国の2040年までに健康寿命を3年以上延伸にあわせて県の目標を具体的に設定しているが、年齢調整死亡率については、減少と抽象的な目標となっている。あえて具体的に数値化するということも1つの手だが、具体的にどれくらい下がるかという予想も難しいところ。
- ・年齢調整死亡率については、なぜ具体的な数値が入ってないのかと思ったが、事務局の説明等を聞いて、現状ではかなり先の話になるので、数値目標を定めることは難しいと思った。
- ・心血管疾患については、現時点で具体的な数値を出すことは難しいと思うが、例えば5年くらい取組み、残りの期間の数値目標を立てるというのは可能かもしれない。
- ・全体目標は推進計画において重要であることから、具体的な数値目標を検討してはどうか。

<Ⅳ 循環器病対策の現状と課題、取組の方向性>

- ・普及啓発は、地域の自治会や地区社協単位等の1次医療圏を中心とした広報活動を行うことでより住民に浸透すると思う。
- ・小さいコミュニティで話を聞き、周囲の人と共有するのが大事で、地域に密着した普及啓発活動を行うと、意識していない人にも声が届くのではないか。
- ・発症予防として、極めて重要なことが記載されているが、一般の県民にとっては難しい部分もある。他の項目も同様に、一見して要点がわかるよう表現方法等を検討してはどうか。項目ごとにまとめて記載する、表にまとめる等の方法はどうか。
- ・脳卒中の維持期の体制として、ケアマネジャーが医療と介護の連携において中心的な役割を担っていると思うので、ケアマネジャーのことを具体的に追記してはどうか。
- ・心血管疾患の救護において、消防局主催の講習会は規模の大きさを問わなければ記載されている回数よりもっと多いと思う。
- ・応急講習会を受けていたので、いざというときに慌てずに対応できた、というようなニュースを聞くが、このようなことが一般化できるとよい。
- ・大動脈緊急症については、患者の一部が県外に搬送されており、医療機関の相互連携を機能的有機的に行えるシステム作りが必要である。
- ・今どの病院が受け入れ可能か、手術可能かという情報が、24時間確認できるシステムがあれば心強い。
- ・かかりつけ医は、慢性期・再発予防の部分で役割を担う必要があると考えている。
- ・急性期に慢性心不全看護認定看護師の記載があるが、慢性期・再発予防に記載してはどうか。急性期の認定看護師は、クリティカルケア、救急看護認定看護師が該当すると思う。
- ・2020年から心不全療養指導士の資格もでき、現在、愛媛県には17名いるので記載してはどうか。
- ・循環器病に関する相談は、生活習慣病の予防も含め住民に一番近いところで活動している市町や保健所の保健師が窓口となっている。市町における相談窓口や多職種連携について記載してはどうか。
- ・心血管疾患の移行期医療については、移行期医療体制の構築が必要であり、必要性を含めた周知を記載してはどうか。普及啓発の項目にも移行期医療に関する内容を記載してはどうか。
- ・難病の受給者証所持者のうち20歳以上の先天性心疾患患者は375人となっているが、申請できることをご存知ない方も多く、全国的に難病の申請をしていない方が相当数いると思われる。

<Ⅴ 推進体制と評価>

- ・役割の医療保険者と保健・医療又は福祉の業務従事者については、だれがどうするのかが分かるような表現にしてはどうか。
- ・教育委員会と協力して計画を推進していく必要があると思うので、役割に「学校・教育」を記載してはどうか。また、評価する際の大学の役割は大きいと思うので、「大学」も記載してはどうか。

②今後のスケジュールについて

○事務局説明

- ・今回の協議を踏まえ素案を修正
- ・12月下旬から1月下旬 パブリックコメント
- ・令和4年2月 第3回協議会（推進計画最終案）
- ・3月 推進計画の決定・公示